

クラフトまち散歩

～サンモール一番町界隈～

参加費無料

全2コース、各日4回、合計8回

サンモール一番町商店街とその周辺エリアで、「クラフトまち散歩マップ」に掲載されているクラフトを扱うショップや、仙台のまちづくりの起点となった野中神社、仙台固有の卦体神風習の1社である大日如来等を巡る、参加費無料のガイド付きまち散歩です。

10月4日(金) ①13:00～14:00(コース1) ③16:00～17:00(コース1)
②14:30～15:30(コース2) ④17:30～18:30(コース2)

10月5日(土) ①11:00～12:00(コース1) ③14:30～15:30(コース1)
②13:00～14:00(コース2) ④16:00～17:00(コース2)

場 所／サンモール一番町界隈

定 員／各回最大10名程度(先着順)

申込方法／当日、会場南町通り側案内所に受付

予定コース ※各コース1時間程度／当日変更の可能性あり／雨天決行

コース1 ボタンのムツミヤ アフリークソレイユ ギャラリーボチュー 野中神社

コース2 ギャルリ アルブル DECOrate 柳町大日如来 (タゼン) (光原社) COCO-chi

主催:仙台・杜の都のクラフトフェア実行委員会
企画・運営:株式会社たむすび 協力:古民家びと合同会社、東北工業大学 助成:令和6年度青葉区まちづくり活動助成事業



YouTube

創るを知る!

～杜の都の金属工芸～



第1部:【台湾と日本の工芸について】陶錫工藝 王邦珍氏、楊蕙如氏
台湾地震復興支援ブースに出展予定の陶錫工藝の2名へインタビューを行いました。お2人が暮らしている地域もクラフトが盛んな地域ようです。この機会に台湾のものづくりにも触れてみませんか。

10月下旬
配信予定

第2部:【鍍金編】金属工房「飾」 増田周一氏
第3部:【鍛金編】株式会社タゼン 田中善氏
第4部:【彫金編】株式会社タゼン 田中善氏

金属の工芸には「鍍金(ちゅうぎん)、彫金(ちようぎん)、鍛金(たんぎん)」といった様々な技法があります。今回は今年度の出展作家である2名からそれぞれ金工の技法をお伺いしました。仙台市内の工房にて「創る」を発見しましょう!

配信中



企画・制作:仙台・杜の都のクラフトフェア実行委員会 撮影・編集:古民家びと合同会社 早川欣哉
出演:陶錫工藝 王邦珍・楊蕙如、金属工房「飾」 増田周一、株式会社タゼン 田中善
助成:令和6年度青葉区まちづくり活動助成事業

会場となるサンモール一番町界隈にはクラフトのショップや知られざる名所などがたくさんあります。そこで東北工業大学生活デザイン学科の学生が地域のおすすめスポットを巡り、「クラフトまち散歩マップ」を制作しました。クラフトフェアを楽しみながら、青葉区の魅力を再発見しませんか。

主催:仙台・杜の都のクラフトフェア実行委員会 企画・制作:東北工業大学生活デザイン学科 助成:令和6年度青葉区まちづくり活動助成事業

学生ブースについて

杜の都のクラフトフェアではものづくりに関わる若者を増やしていく取り組みの一端として昨年から学生ブースを設けることにしました。学生ブースには3つのテーマがあります。

3
themes

学生たち自身が作品を制作し、それをクラフトフェアで展示・販売することで、作家活動を身近に感じてもらうこと
参加する作家や学生同士の交流から新しいアイデアや技術を学び合う場となること
学生たちが地元で活動するイベントでの経験を通じて、地域社会との結びつきが強化されること

杜の都のクラフトフェアは、将来ものづくりを担う若者の育成と地域社会の活性化へ貢献していきます。来年以降の開催情報や学生ブース募集に関する詳細は、クラフトフェアの公式サイトにてご確認ください。全国の学生さんの新たな挑戦を応援するとともにたくさんの参加をお待ちしています!

能登半島地震復興支援作家招待募金へご協力をお願い

【募金箱設置場所】当日会場内本部

この度は、令和6年1月1日に発生しました能登半島地震により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。現在、被災地の復興に向けて、様々な支援活動が行われています。私たちもまた、少しでも被災地の力になればとできることはないか話し合いを重ねてまいりました。しかし今年は被災地でもまだ混乱の中にあり、各所からの引き合いも多く、被災作家も対応が間に合わないとのことでした。そこで当イベントは来年への被災地支援に向けて舵を切ることになりました。この度「杜の都のクラフトフェア2025に能登半島地震被災作家を招待するための募金」を企画いたします。皆様からお預かりした募金は杜の都のクラフトフェア2025で被災地の作家を招待するための、交通費や滞在費、委託販売の場合の送料等に役立てさせていただきます。被災した作家が自身の活動を継続するにあたっての一助となればと思います。皆様のご協力をお願いいたします。

ご来場の皆さまへ 体調が優れない場合はご来場をお控えください
作品撮影の際は作家にお声がけください

このリーフレットは「モンテシオン」という用紙を使用しています。

このリーフレットに使用している紙「モンテシオン」は、東日本大震災で大きな被害を受けた日本製紙石巻工場が、震災後復活した際に東日本大震災復興支援商品として日本製紙石巻工場で開発された印刷用紙です。

ボランティアスタッフ募集中! 仙台・杜の都のクラフトフェアと一緒に盛り上げてくれるスタッフを募集します。ご希望の方は morimiya.cf@gmail.com までご連絡ください。

台湾・花蓮県 工藝の魅力を杜の都のクラフトフェアへ

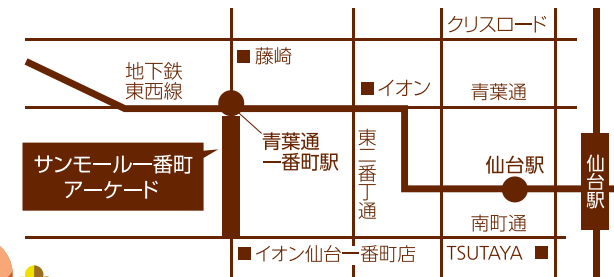


2024年4月3日台湾の東部沖沿岸を震源としたマグニチュード7.4の地震が発生。花蓮市では震度6強を記録し、ビルが傾いたり倒壊したり、至る所に大地震の爪痕が残されました。台湾の中でも花蓮県は台湾原住民などの生活工芸が息づいており、文化の重要な一端を担っています。しかし、このたびの台湾地震により甚大な被害を受けました。台湾と日本は古くから友好関係にあり、東日本大震災の際も台湾から多大な支援をいただきました。私たちも微力ですが復興支援の一助として、花蓮県在住の陶藝家王邦珍さんと錫工藝師楊蕙如さんのお二人を杜の都のクラフトフェア2024にお招きすることにいたしました。当日、会場内での展示販売はもちろん、YouTubeで対談も配信します。お二人の人物や作品を通じて台湾工藝の魅力の一端に触れる機会となれば幸いです。また、お二人によるワークショップも下記の時間で予定しています。

【日時】10月4日(金) 14:30、15:30 / 10月5日(土) 10:30、11:30、14:30、15:30
【所要時間】約50分 【定員】4名

Information

morimiya.cf@gmail.com http://morimiya-cf.raindrop.jp/
宮城県仙台市青葉区一番町2丁目 サンモール一番町商店街 / 仙台市営地下鉄東西線「青葉通一番町駅」南1出口よりすぐ / JR「仙台駅」より徒歩で約12分 / 仙台宮城インターより車で約10分



Facebook
Instagram
X (Twitter)
HomePage
YouTube



2024.10.4^{12:00-19:00} fri_5^{10:00-18:00} sat

会場 サンモール一番町

主催 / 仙台・杜の都のクラフトフェア実行委員会

後援 / 宮城県、仙台市、河北新報社

協力 / サンモール一番町商店街振興組合、ブルーファーム株式会社

令和6年度 仙台市青葉区まちづくり活動助成事業

杜の都のクラフトフェア2024



